

おばま 市議会だより

No. 182

多様な宿泊施設整備支援事業などの予算案を可決
議会報告会を開催

くまなくチェック 委員会審査



12月補正予算の審査

12月定例会では、観光資源を生かした宿泊施設整備にかかる費用や、障がい児が通う放課後等デイサービスを提供する事業所に対する補助金などの補正予算案を可決しました。
審査の過程であった主な質疑は、次のとおりです。

■ 可決した12月補正予算

会計名	既決予算額	補正額	補正後予算額
一般会計	169億2,181万円	4億1,365万円	173億3,546万円
特別会計	69億8,125万円	4,592万円	70億2,717万円
企業会計	43億4,718万円	936万円	43億5,654万円
合計	282億5,024万円	4億6,893万円	287億1,917万円

歴史文化を 前面に打ち出した 宿泊施設オープンへ

多様な宿泊施設整備
支援事業
2,000万円

来訪の目的地となるため、県の補助金を活用し、町屋を改修しての宿泊施設の整備に補助するもの

問

補正予算を計上するに至った経緯と、県の事業に対する市の関わり方は。

答

事業者から、県の協力機関である福井県観光連盟に相談があった後、補助金の交付が可能であることの確認を経て、県および事業者から市に知らされた。今後は県との連携を密にし、早い段階から市が事業に関与できるように調整を図りたい。

問

事業の今後の方針は。

答

県は県内全域で宿泊施設の数を増やす意向を示しており、事業は来年度も継続されるものと考えている。

問

事業者の事業計画の妥当性は。

答

事業者は福井県観光連盟の専門家の助言を受けて計画を立てており、県における厳正なる審査を踏まえて採択された。事業が順調に進むよう、県と連携しながら積極的に事業者を支援したい。

委員会での採決の前に、討論が行われました。

反対討論

一事業者に高額な補助金を交付するときは、費用対効果を一層考慮すべきである。本市が旅の目的地に選ばれることに事業は真に寄与するののかの検討が不十分である。

賛成討論

県において厳正なる審査を経て採択された事業であり、市として予算付けすることに問題はない。



宿泊施設の整備が予定されている小浜飛鳥の町並み

放課後等デイサービス支援事業

624万5000円

説明

児童福祉法に基づき、障がい児が通う放課後等デイサービスを提供する事業所に対する補助金を増額するための費用を追加するもの。

問

定員が各10名の事業所3カ所のうち1カ所が昨年度閉鎖され、現在は定員15名の事業所が2カ所となっているが、利用者にとって不便や負担は生じていないか。

答

事業所が2カ所になったことにより利用回数に多少の制限をかけているほか、他のサービスとの併用をお願いしている。料金は、日中一時支援や児童クラブを併用する人の経済負担を軽減するために、放課後等デイサービスの上限額を超えることのないようにしている。

問

事業所運営の見通しは。

答

定員10名の事業所が3カ所設置されている体制が望ましく、2カ所で運営を継続していくことは難しいと認識しているが、事業の実施に当たっては事業所の管理者に経験年数などの要件を満たした専門職を配置しなければならない等、さまざまな規定がある。専門職の育成には一定の年数がかかるが、本市での事業所の開設に向け、関係各所と協議している。

予防接種事業

1204万9000円

説明

子宮頸がんワクチンの接種見込み件数の増加に伴う費用を追加するもの。

問

子宮頸がんワクチンの接種機会を逃した人に対するキャッチアップ接種の期間が今年度で終了するが、接種していない人への次年度以降の対応は。

答

国は、接種希望者にできる限りの接種機会を提供するため、条件付きで接種期限を令和7年度末まで延長する方針を決定した。市も国と同様の対応をしたい。

中学校教育用コンピュータ整備事業

176万円

説明

全国学力・学習状況調査において段階的に導入されるコンピュータを利用した試験方式への対応と、学校の快適な通信ネットワーク環境の整備を図るため、現状のネットワークに関するアセスメント調査を行うもの。

問

小浜中学校を調査の対象校とした理由は。

答

本調査では大規模校1校を調査することにより、その結果を他校にも応用できるものと考えている。

現時点では小浜中学校を対象としているが、調査を実施する際には最も効果を得ることのできる学校を改めて選定した上で実施したいと考えている。

小学校管理諸経費 225万6000円
中学校管理諸経費 102万4000円

説明

令和7年4月から在籍予定の小・中学校の児童・生徒の体格に適合した机と椅子の補充に要する費用等を追加するもの。

問

机と椅子の配備方法は。

答

破損等により廃棄する数と次年度に必要となる数を各学校に確認し、過不足が生じた場合には学校間で調整するが、それでも不足する場合は新たに購入することとしている。

条例の審査

小浜市部設置条例の一部改正について

説明

次年度に向けた組織改編に伴い、所要の改正を行うもの。

問

事務分掌に大きな変更がないにもかかわらず部の名称を変更する理由は。

答

市が直面する課題はその時々によって異なるため、それを解決するための組織編成や人員配置を毎年度協議している。「企画部」を「経営企画部」とし、経営感覚を持って行財政を運営する必要があることを職員に浸透させる。「民生部」を「生活福祉部」とし、生活や福祉を担当する部署であることが市民にとって分かりやすい名称とする。「産業部」を「経済産業部」とし、「経済」の文言を前面に押し出すことにより、民間企業との連携の強化を進めたいとの市長の意思を表すものである。

指定管理者に係る審査

御食国若狭おばま食文化館「健康くつろぎ広場」の指定管理者の指定について

説明

イワシタ物産株式会社を指定管理者に指定するもの。

問

指定期間を現行の5年ではなく10年とした理由は。

答

市の指針では、指定期間を原則3～5年とするが、サービス提供の継続性、安定性、長期契約による経費削減効果を考慮して判断すると規定されており、選定委員会で10年が適当と判断された。その理由として、事業者が長期的な経営プランを立てることができ、5年では判断が難しいものに対して思い切った投資ができることなどが挙げられる。

小浜市ふるさと文化財の森センターの指定管理者の指定について

説明

一般社団法人中名田を指定管理者に指定するもの。

問

文化財の修理に用いる植物性資材の地産地消の現状は。

答

当施設で扱っている植物性資材は檜皮ひのかわとカヤの2種類。今年度実施している萬徳寺の書院の屋根のふき替えには、当施設のカヤが一部使用されている。一般社団法人中名田では、小学生を対象に、明通寺で行われた檜皮の採取作業や若狭彦神社本殿の檜皮ぶき屋根のふき替え工事現場の見学の機会を設けるなど、文化財の普及啓発活動を実施している。

陳情の審査

新型コロナウイルス接種事業に関する

陳情書

説明

新型コロナウイルスをはじめとするmRNAワクチン（レプリコンワクチンを含む）接種事業の中止、住民への予防接種健康被害救済認定数の周知徹底および住民へのmRNAワクチンのリスクの周知徹底を市に求めるもの。

審査内容

本件は市民の健康を守ることと直結しており、生命に関わる問題であるため慎重に審議すべきとの観点から、継続審査とすることに決定した。

教員の長時間労働の抜本的改善を求める意見書提出に関する陳情

説明

教員の長時間労働の是正と教員不足の改善のため、業務量に見合った教職員を配置するための定数法の改正、教職調整額制度の廃止および時間外手当の支給を求める意見書を国に提出するよう求めるもの。

主な賛成意見

さまざまな方策を考える必要があるが、本陳情の願意に賛同する。

主な反対意見

「文部科学省では、教職調整額の引き上げを主な内容とする公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法の改正案の通常国会への提出を検討するなど、教員を取り巻く環境整備を推進しており、意見書の提出は時期尚早ではないか。」
「教員の成り手不足や膨大な業務量などの課題解決なくして、教育環境の抜本的な改善にはつながらないのではないか。」

令和6年第5回定例会の採決結果

賛成全員で可決、同意した議案等

項目	件名	項目	件名
予算	専決処分について承認を求めることについて(令和6年度小浜市一般会計補正予算(第5号))	条例	小浜市一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正について
	令和6年度小浜市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)		小浜市特別職の職員の給与および費用弁償に関する条例の一部改正について
	令和6年度小浜市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)		小浜市一般職の職員の給与に関する条例および小浜市会計年度任用職員の給与および費用弁償に関する条例の一部改正について
	令和6年度小浜市水道事業会計補正予算(第2号)		小浜市部設置条例の一部改正について
	令和6年度小浜市一般会計補正予算(第7号)	市会案	小浜市議会議員の議員報酬および費用弁償等に関する条例の一部改正について
	令和6年度小浜市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)		その他
	令和6年度小浜市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	小浜市総合福祉センターおよび小浜市デイサービスセンターの指定管理者の指定について	
	令和6年度小浜市介護保険事業特別会計補正予算(第4号)	小浜市ふるさと文化財の森センターの指定管理者の指定について	
	令和6年度小浜市水道事業会計補正予算(第3号)	小浜市道路線の変更および認定について	
令和6年度小浜市下水道事業会計補正予算(第2号)			

賛否が分かれた議案等

多=賛成多数(可決) 否=賛成少数(不採択)
○=賛成 ×=反対

項目	件名	採決結果	浦谷梨華子	佐野達也	上野一	世戸玉枝	武長由里子	東野浩和	川代雅和	岡泰宏	竹本雅之	牧岡輝雄	藤田靖人	池田英之	小澤長純	今井伸治	下中雅之	富永芳夫	池尾正彦	賛成	反対	
予算	令和6年度小浜市一般会計補正予算(第6号)	多	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	15	1
陳情	教員の長時間労働の抜本的改善を求める意見書提出に関する陳情	否	×	×	×	○	×	×	×	○	×	×		×	×	×	×	×	○	3	13	

※藤田靖人議員は議長のため、採決には加わっていません

◆10月

◆議会活動日誌◆

30	(水)	議会運営委員会、行政視察受け入れ(愛知県大府市)
29	(火)	福井県市町議会議員合同研修会(福井市)
26	(土)	「御食国若狭おばま」杯親善ソフトバレーボール大会開会式・交流レセプション
25	(金)	産業教育常任委員会、小浜市・若狭町・高島市総合振興協議会正副会長会議
24	(木)	小浜市男女共同参画講演会
22	(火)	嶺南広域行政組合行政視察(福岡県添田町・大分県豊後高田市)〜23日
21	(月)	議会運営委員会
20	(日)	全国育樹祭式典(越前市)
19	(土)	全国育樹祭懇談会(福井市)、川越まつり(埼玉県川越市)〜20日
18	(金)	議会報告会連絡会、若狭消防組合議会定例会
17	(木)	行政視察受け入れ(千葉県東金市)
16	(水)	福井県原子力発電所準立地市町連絡協議会による中央要請(東京都内)
12	(土)	小浜市議会災害対策連絡会議、福井県総合防災訓練
11	(金)	福井県原子力環境安全管理協議会(敦賀市)
8	(火)	全員協議会、広報推進特別委員会
7	(月)	行政視察受け入れ(千葉県印西市)、小浜市表彰選考委員会
5	(土)	社会福祉法人若狭つくし会法人設立30周年記念式典

議会報告会

を開催しました

議会報告会とは…

小浜市議会基本条例に基づき開催するものです。議会の説明責任を果たすとともに、市民の皆さまからのご意見を議会に反映することとしています。頂いたご意見を整理し、必要に応じて議員による政策討論会を経て、政策立案や執行機関への提言につなげてまいります。また、その他のご意見については執行機関に回答を求め、議会報告会報告書に取りまとめます。



遠敷地区での報告会の様子（11月22日）

「開かれた議会」を目指して、市内12会場で3日間にわたり議会報告会を開催しました。議会定例会とひとり暮らし高齢者の社会的孤立を防止する取り組みについての報告を行い、その後の意見交換では、皆さまから貴重なご意見を数多く頂きました。

12会場で合計222名の市民の皆さまにご参加いただきました。たくさんのご参加、ありがとうございました。

◆11月

◆議会活動日誌◆

- 24 (日) 文化祭秋季書道展表彰式
- 22 (金) 全員協議会、株式会社ケーブルテレビ若狭小浜役員会、議会報告会(西津、国富、松永、遠敷)
- 21 (木) 議会運営委員会、行政視察受け入れ(山形県鶴岡市、福井県市議会議長会による中央要望(東京都内)、嶺南広域行政組合同議会代表者会議(おおい町)、議会報告会(内外海、今富、口名田、中名田)
- 20 (水) 嶺南市町議長会による県要望(福井市)
- 19 (火) 福井県市議会議長会議員研修会(福井市)
- 18 (月) 議会運営委員会
- 16 (土) 小浜市戦没者追悼式、高速交通体系シンポジウム
- 14 (木) 北陸新幹線建設促進総決起大会(東京都内)、北陸新幹線早期全線開業を求める中央要望(東京都内)～15日
- 13 (水) 総務民生常任委員会管外視察(鳥取県鳥取市、兵庫県朝来市)～14日
- 11 (月) 行政視察受け入れ(山形県米沢市)、小浜市・若狭町・高島市総合振興協議会による福井県、滋賀県要望活動(市内)、滋賀県大津市)、公立小浜病院組合同議会運営会議
- 9 (土) 小浜男女共同参画のつどい、小浜市総合文化祭短歌大会および表彰式
- 8 (金) 行政視察受け入れ(日本遺産「銀の馬車道」砥石の道)議員連盟
- 7 (木) 地方行政・金融講演会(福井市)、議会報告会(小浜、雲浜、宮川、加計)
- 6 (水) 行政視察受け入れ(茨城県那珂市)
- 5 (火) 全員協議会
- 3 (日) 小浜市表彰式
- 2 (土) 若狭町制20周年記念式典(若狭町)

皆さまの声を 議会活動に反映します！

参加者アンケートで皆さまから頂いたご意見の一部を紹介します。
ご意見は、今後の議会活動に役立ててまいります。

その他のご意見

- 大変内容の濃い報告会だった。
- 区長ばかりの参加だったのが残念。もっと若い方が興味を持って自分から進んで参加できるような会にしてほしい。
- 財政が厳しい中、細かく審議していることが分かった。
- 論点を絞って発言する、1人の話す時間を制限する等の工夫があると良い。

※ご意見は、一部要約させていただいています



報告書が完成しましたら、各地区コミュニティセンターに届けるとともに、議会のホームページに掲載しますので、ご覧ください。

ひとり暮らし高齢者の社会的孤立を防止する取組みに関する報告に対するご意見

- 取組みの担い手は民生委員や区長、各区老人クラブや保健推進員等になりがちで、その結果民生委員などの成り手不足となる、というジレンマのようなものは多くの方が感じていると思う。成り手不足について市民が考える機会が増えてほしい。
- 成り手探しに苦勞する中、デジタルの活用も重要である(遠隔で見守りをするなど)。
- 住民サービスとしての高齢者見守りに人件費をもっと充てるべきではないか。ネットやデジタル機器の利用が難しい方に対しては、設備の購入などへ助成や訪問説明など、ヒト・モノ・カネをかけるべきではないか。
- 各ふれあいサロンへの助成があると良い。準備等に時間がかかり、チラシ作成などに費用がかかる。
- 高齢者の外出意欲を高め閉じこもりを防止することが大事なので、地域公共交通の在り方の検討をお願いしたい。
- 閉じこもりがちな高齢者に、ふれあいサロンなどの交流の場へ出向いてもらうにはどうすればよいか、早期介入が大事だと思う。災害時の共助に関しても、普段から顔見知りならスムーズかと思う。

26	(木)	広報推進特別委員会、公立小浜病院組合議会
25	(水)	若狭消防組合議会臨時会
24	(火)	嶺南広域行政組合議会定例会(敦賀市)
23	(月)	若狭広域行政事務組合議会定例会(若狭町)
20	(金)	若狭広域行政事務組合議会代表者会議(若狭町) 員協議会
19	(木)	令和6年第5回小浜市議会定例会、議会運営委員会、北陸新幹線早期全線開業特別委員会、全
18	(水)	議会運営委員会
16	(月)	予算決算常任委員会
14	(土)	「杉田玄白賞」表彰式・記念講演会および杉田玄白・中川淳庵先生顕彰祭
13	(金)	令和6年第5回小浜市議会定例会、総務民生常任委員会、全員協議会
12	(木)	令和6年第5回小浜市議会定例会、議会運営委員会、各派代表者会
10	(火)	原子力発電小浜市環境安全対策協議会、議会報告会連絡会
9	(月)	議会運営委員会、総務民生常任委員会
6	(金)	小浜市防犯隊年末警戒出動式
4	(水)	議会運営委員会、総務民生常任委員会・分科会
3	(火)	産業教育常任委員会・分科会
2	(月)	公立小浜病院組合議会常任委員会
◆	12月	
29	(金)	商工優良従業員表彰式
28	(木)	令和6年第5回小浜市議会定例会、予算決算常任委員会、広報推進特別委員会
27	(水)	行政視察受け入れ(長野県高森町)、綾部小浜・敦賀間国道編入ならびに整備促進期成同盟会総会、国道162号・小浜南丹間道路整備促進期成同盟会総会
25	(月)	産業教育常任委員会、公立小浜病院組合議会

市政を問う！一般質問

令和6年第5回(12月)小浜市議会定例会

氏名	質問項目
佐野 達也	1. 新幹線敦賀開業8カ月後の市内観光について
世戸 玉枝	1. 原発に対する立地並み同意権について 2. 福祉灯油について 3. ふるさと納税について
上野 一	1. 保育士の人材確保について 2. 地域社会のための獣害対策について
武長 由里子	1. 学校教育施設の修繕について 2. 市内のWi-Fi環境の整備について
池田 英之	1. 市長重点施策と令和7年度当初予算編成 2. 防犯カメラの設置推進について

氏名	質問項目
川代 雅和	1. 有害鳥獣の被害対策について 2. 公共施設の整備計画について
浦谷 梨華子	1. 親子連れ投票について 2. ペットとの同行避難について 3. 3歳未満児への保育の受け皿整備について
今井 伸治	1. 災害時対応について 2. 市長の政策について

※一般質問の原稿は発言議員が自ら作成しています。
二次元コードを読み取ると、一般質問の様子を動画でご覧いただけます。

北陸新幹線敦賀開業後の市内の観光

問 北陸新幹線敦賀開業後8カ月たった市内の観光状況について伺う。

答 主要観光スポットにおける令和6年3月から10月までの入り込み状況については、蘇洞門めぐりが約13%の増、北陸アステイネーションキャンペーンがスタートした10月については、前年同月比で約70%の増となったほか、食文化館は約20%の増となった。また、小浜市インフォメーションセンターを訪れた観光客は前年比で約37%増となっており、外国人観光客も約50%増加している。さらに、観光貸切タクシーについても前年比で約37%増加している。

問 今後どのような取組みにより誘客を図るのか伺う。

答 旅の目的の地化と客層の拡大の取組み、食や神社仏閣などの素材の組み合わせによる魅力アップ、そして様々な観光コンテンツを組み合わせたモデルコースの構築や、小浜西組の面的な開発によるエリア全体の高付加価値化の取組みを進める。また、客層拡大のための取組みとしては、若い世代をターゲットとした写真スポットの充実や小浜ならではのおいしい食を誘客素材として活用していく。

北陸新幹線で来やすくなった北関東・甲信越エリアからの誘客促進に努める情報発信ではSNSや動画配信などを有効活用しながら若い世代にも響く観光コンテンツの魅力発信していく。さらには今後JRや大手旅行エージェントが展開するプロモーションと連携を継続する。



さの たつや
佐野 達也



立地並み同意権を／福祉暖房／ふるさと納税

問 原発に対する立地並み安全協定が必要と言われるが、具体的にどのような進められるのか。

答 小浜市・若狭町・越前町・南越前町で構成している福井県原子力発電所準立地市町連絡協議会を通じ、立地並みの安全協定の見直しを行うよう国・県・事業者に粘り強く要望する。

問 小浜市は、過去、福祉灯油助成事業を実施しているが、その時期を伺う。

答 平成19年度に実施した。

問 そのときと現在の灯油代、消費税率、生活保護の冬季加算を伺う。

答 (下の表のとおり答弁)

問 この比較を見ると今年福祉暖房を実施してもいいのでは。

答 国から経済対策の要綱が示され次第検討する。

問 ふるさと納税は、返礼品競争に陥っていると批判も。制度について市長の考えを聞く。

答 地域の魅力を再発見し、全国に発信する機会であり、その成果を地域に還元する仕組みと考える。

問 地場産業の活性化につなげるため、市は、事業者と連携、協働をどのように強めるのか。

答 市・事業者・中間業務事業者の3者が連携し、それぞれの強みを生かし、地域ブランドの確立と経済の活性化に向けて協働していきたい。

	平成19年度	令和6年度
灯油代	93.3円	119.7円
消費税率	5%	10%
冬季加算	7,230円	6,790円

灯油代は1ℓ当たり。冬季加算は65歳～69歳の単身者の場合の金額



せと たまえ
世戸 玉枝



保育士の人材確保 !!



うえの はじめ
上野 一



問 保育士不足の現状と課題について伺う。

答 保育士の配置については、基準を満たしている。気がかりな子どもなど支援が必要な子どもが増えてきていることに対しても、国の基準を超えて配置している。保育料の第2子無償化などにより全国的に低年齢児の保育を希望する保護者が増えてきている。本市においても特に0歳児の入園児数が上昇傾向にある。国の配置基準の見直しが表示されることなどもあり今後の保育士の需要がこれまで以上に高まると予想され、安定的に保育士を確保することが課題となっている。

問 保育士確保に向けての取組みについて伺う。

答 1点目は保育士資格を希望する職員に対する情報提供や受験料などに対する経済的サポート、2点目は県の補助事業を活用し子育て中の保育士が気兼ねなく休暇を取ることができる体制の確保や、保育士のメンタルケアに取り組んだ私立園に対しての補助、3点目は、市内の私立園で3年以上継続して就労する予定で、県外から転入してくる保育士に対し、1人につき30万円の奨励金を支給している。

問 こども誰でも通園制度について伺う。

答 令和8年度から全国全ての自治体でそれぞれ1施設以上実施することとなっているが、現在は幾つかの自治体で試行的事業を実施している段階である。本市としても制度のニーズを把握しつつ、国からの情報を注視しながら、県内各市町の動きも踏まえ取り組んでいく。

学校施設の修繕とWi-Fi環境の整備を !!



たけなが ゆりこ
武長 由里子



問 小中学校内の設備等の修繕予算付けの考え方について伺う。

答 軽微なものは、毎年各小中学校に配当する予算においてそれぞれの学校が対応し、老朽化等による安全性や機能性の確保が必要な修繕は、市が優先順位を定めて予算化し計画的に実施している。

問 修繕箇所の優先順位について伺う。

答 学校施設等の修繕は、施設の状態や児童・生徒の安全性、教育活動への影響などの観点により、緊急性が高いと判断したものをから順次取り組んでいる。小中学校全体での優先順位を総合的に判断し、修繕を行っている。

問 特に修繕金額の大きい場合の予算付けについて伺う。

答 庁内で協議・調整を行い、費用が高額となる修繕は、施設や設備の必要性や緊急性、重要性などを判断し、振興実施計画に位置付け、総合的かつ計画的に取り組むこととしている。

問 学校のネットワーク(Wi-Fi環境等)環境整備について伺う。

答 本市では、児童・生徒が一齐にネットワークを使用した場合つながりにくくなるといった状況が見られる。この状況を踏まえ、文部科学省が新たに創設した、学校ネットワークを分析・診断するアセスメント調査に取り組むための補助事業を活用した調査に係る予算を今期定例会に提案しており、安定したネットワーク環境の確保に努めていきたい。

安全・安心のために防犯カメラの設置を !



いけだ ひでゆき
池田 英之



問 令和7年度歳入における年収103万円の壁見直しの影響について。

答 市税が5億円程度減収すると見込まれ、国からの補てんがなければ予算が組めず大きな影響がある。

問 稼ぐ、活かす、育むの重点施策をどう予算編成に盛り込んでいくか。

答 職員一人ひとりが「みんなが潤う新しい小浜」の実現に向けた予算を編成していく。

問 市長との対話集会における意見を予算編成へどう反映していくか。

答 政策の質を上げることや市民の皆様の満足度に応えたものになっているか判断する材料にする。

問 職員一人一人が改革意識を持ち、果敢に挑戦する姿勢が徹底されているか。

答 事業のスラップや思い切った事業の見直しを行うことと未来志向の政策を作り上げることを念頭に取り組む。

問 防犯カメラ設置の県補助事業の内容は。

答 「安全安心まちづくり支援事業補助金」が該当。補助上限額は、カメラ1台につき5万円かつ一つの小学校区につき50万円である。

問 県補助事業の県内市町の活用状況は。

答 本市と池田町を除く全ての市町において実施されている。

問 今後の防犯カメラ設置の市の考えは。

答 安全な地域社会の実現に向け、区等から要望があれば防犯カメラ設置の費用を支援していく考えである。

公共施設の整備について



かわしる まさかず
川代 雅和



問 市民から提出された複合的文化施設建設に関する要望書の内容は。

答 令和6年3月と9月に、「文化のまち小浜に新複合的文化施設の建設を求める会」から延べ約1万2千名の署名と要望書が市長に提出された。要望内容は、さまざまな文化活動と人々が集まる機会を設け、出会い、連携など、相互の活性化によりまちの活力やにぎわいを創り出す「文化ビオトープ構想」をメインに掲げ、老朽化や点在している公共施設を集約・再編し、文化、教育、子育て、防災など多面的な機能を持った新複合的文化施設とすること、また、施設の建設に当たっては、市民ニーズを考慮したハードやソフト両面での機能を持たせるため、さまざまな立場の市民の意見を取り入れ、計画段階から官民協創で取り組んでいくための会議体の設置を求めるものであった。

問 複合的文化施設の建設に向けた考えは。

答 文化会館は、建設から既に53年が経過し、耐震化や長寿命化の必要性が高まる一方で、近い将来には、施設の建て替えの検討も必要であると考えている。新たな公共的施設は、文化的機能だけでなく複数の機能を集約して、複合化、多機能化することにより、利便性を高め、多様な人々の交流促進を図ることは重要と考えている。公共的施設を整備する際には、財源の確保をはじめ、市民の理解や関係者との協議のほか、測量設計業務や建設工事などに一定の期間を要することから、今後、慎重に検討していきたい。

人とペットにやさしいまちづくりを



うらたに りかこ
浦谷 梨華子



問 災害発生時、ペット同行避難者を受け入れられる避難所があるのか、市の現状を伺う。

答 本市には、指定避難所が34施設あるが、ペット同行避難者専用の避難所はなく、「小浜市避難所運営マニュアル」では、ペット同行避難者が指定避難所へ避難された際は、動物が苦手な人、アレルギーを持っている人等への配慮の観点から、原則、ペットを屋内へ連れ込むことをお断りし、屋外の屋根のあるスペースで飼育していただくとしている。

問 市の今後の取組みについて伺う。

答 環境省の「人とペットの災害対策ガイドライン」は、自治体が地域の状況に応じた、独自の災害対策マニュアルや動物救護の体制を検討する際の参考となるよう作成されている。

ひとたび災害が発生すれば、被災者の中にはペットの飼い主も含まれることが考えられ、ペットは家族の一員という意識のもと、同行避難が想定される。

本市においても、本ガイドラインやチェックリストに記載されている内容を参考とし、ペット等の受け入れ体制を関係機関や関係団体等と連携し、今後検討していくとともに、体制が整備されれば、ペット同行避難者を想定した避難訓練の実施等も考えていきたい。



北陸新幹線に対する市長の思い



いまい しんじ
今井 伸治



問 北陸新幹線に対する市長の思いを問う。

答 北陸新幹線は、日本海国土軸の形成に寄与し、首都圏一極集中の是正と国土の均衡ある発展に資するとともに、大規模災害時における東海道新幹線の代替機能を果たすなど、国土強靱化を図る上で極めて重要な国家プロジェクトである。

これまで市議会をはじめ市民の皆さまが半世紀にわたり懸命に活動を行ってきた歴史を踏まえ、あと一步に迫った年内の詳細な駅位置・ルートの公表および早期の認可・着工に向けて、市議会や県、関係者の皆さまとしっかり連携して、国等への働き掛けをさらに強め、一日も早い早期全線開業に全力で取り組む。

認可・着工に向けて施工上の課題を解決するなど諸条件を整えるため、市としても県や鉄道・運輸機構と緊密に連携し、事業の円滑な推進が図れるよう最大限に協力していく。

問 北陸新幹線に関して、嶺南市町の首長とどのように認識を共有するのか。また建設を促進するリーダーとしての自覚を問う。

答 一日も早い全線開業を成し遂げるためには、嶺南地域の各市町との強固な連携が必要不可欠である。

あらゆる機会を通じて嶺南6市町の首長との信頼関係をさらに強固なものとして、北陸新幹線の一日も早い全線開業に向けて、私が先頭に立ち取り組んでいく。

議会を傍聴しませんか? ~3月定例会の予定~

以下の会議は傍聴することができます。

傍聴される際には、議場・会議室に入室される前に、必ず、市役所5階の議会事務局で受付をお願いします。会議の途中でも入退室できますので、ご都合のよい時間に、ぜひお越しください。

2月18日(火)	本会議・予算決算常任委員会 (令和6年度3月補正予算)	2月27日(木)	産業教育常任委員会・分科会調査 (令和7年度当初予算ほか)
20日(木)	本会議・予算決算常任委員会	28日(木)	//
25日(火)	総務民生常任委員会・分科会調査 (令和7年度当初予算ほか)	3月17日(月)	本会議(一般質問)
26日(水)	//	18日(火)	//
		19日(水)	予算決算常任委員会
		24日(月)	本会議

※状況に応じて、変更が生じる場合があります

●●●寄附行為の禁止●●●

議員が選挙区内の人や団体に寄附をすることは、公職選挙法で禁止されています。

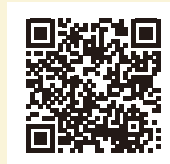
禁止されている例として、以下のようなものがあります。

- 町内会・自治会の集会や旅行など催し物への差し入れ
- 祭りへの寄附や差し入れ
- 地域の行事や運動会への差し入れ
- 病気見舞い
- 落成式や開店祝いの花輪、葬式の花輪、供花
- 本人以外が代理で出席する場合の結婚祝いや葬式の香典
- 出産・入学・卒業・就職等の祝い金や祝い物
- お中元やお歳暮
- 年賀状・暑中見舞いなどのあいさつ状(答礼のための自筆を除く)

政治家に寄附をするよう勧めることや求めることも禁じられていますので、皆さまのご理解をお願いいたします。

●ホームページをご覧ください

採決結果や次回定例会の日程、本会議の動画配信(本会議終了後2週間程度で視聴できます)など、さまざまな情報を発信しています。



編集後記

新春をことほぎ謹んでお喜び申し上げます。旧年は、国内外において重要な選挙が多数行われる一方で、地震や災害に見舞われた年でした。令和7年が、市民の皆さまにとって良き年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

私ども広報推進特別委員会では、本紙を通して議会での議論や審議内容を分かりやすくお伝えするため、日々努力を重ねております。お気づきの点がありましたら、ぜひご意見をお寄せいただけますようよろしくお願いいたします。

広報推進特別委員会 委員 武長由里子



今号の表紙

青と冬 ~防火を決意~

(小浜日吉・人魚の浜東駐車場)

1月5日、冬晴れの空の下、消防出初式が行われました。家族連れなど多くの人が見守る中、ポンプ車などから一斉放水。若狭消防署員や小浜消防団員は、防火と防災への誓いを新たにしていました。

地域公共交通の課題解決に向けて 先進地視察を実施

(総務民生常任委員会の所管事務調査)

本委員会では、地域公共交通の今後についての調査研究に取り組んでいます。中でも、地域の足の確保が急務であることから、先進地の事例を学ぶため視察を行いました。

《実施日》 令和6年11月13日(水)

14日(木)

《視察先》 鳥取県鳥取市

兵庫県朝来市

〔鳥取県鳥取市〕

鳥取市では、バス路線の減便・廃止等により交通空白地となった地域で、今年度から自家用有償旅客運送を開始しました。住民が主体になることが重要であるとして「共助交通」と呼び、7地区それぞれのまちづくり協議会等が運行主体となっています。

共助交通の検討では、地域での協議や住民アンケートを行いました。本格運行に向けて市は運輸局への申請などの支援や助言をし、運行開始後も継続的に支援しています。

運行主体から、運行管理の負担が大きいなど不安の声が上がったことから、日野自動車株式会社に運行

自家用有償旅客運送とは…

既存のバス・タクシーによる交通手段が確保できない地域で、地域住民等の利便性を確保するため、必要な措置をした上で自家用車(白ナンバー)を用い、市町村等が運賃を受け取って輸送サービスを提供する制度

管理業務を委託しています。

鳥取市の自家用有償旅客運送は地域住民の自主的な運行に対して市が支援する点が特徴的であり、住民意識の高まりも望まれると感じました。

〔兵庫県朝来市〕

朝来市では、市長の強い意向で、令和6年4月から市が運行主体となり、自家用有償旅客運送を開始しました。

令和4年にJRRローカル線収支状況が公表されたことを契機に、危機感を覚えた市は、デマンド交通(予約制乗合交通)の試験運行を実施しました。



担当者の説明に熱心に耳を傾ける委員



電話予約を受け付ける予約センターを見学

令和5年には、「幹線を充実、枝線はデマンドに」という方向性が固まり、令和6年4月から一部地域でデマンド交通の試験運行を開始し、10月からは本格運行しています。別の地域でも、路線バスを再編した上で試験運行を開始しました。

市は、運行管理をタクシー会社に委託していますが、交渉は順調に進んだわけではなく、繰り返し丁寧に説明したとのことでした。

予約は電話またはインターネットで受け付け、A-1が指示したルートに従って運行しています。

本市において制度を導入する場合にも、参考にすべき内容が数多くあると感じました。

今後もさらなる調査・研究を続け、執行機関への提言等につなげます